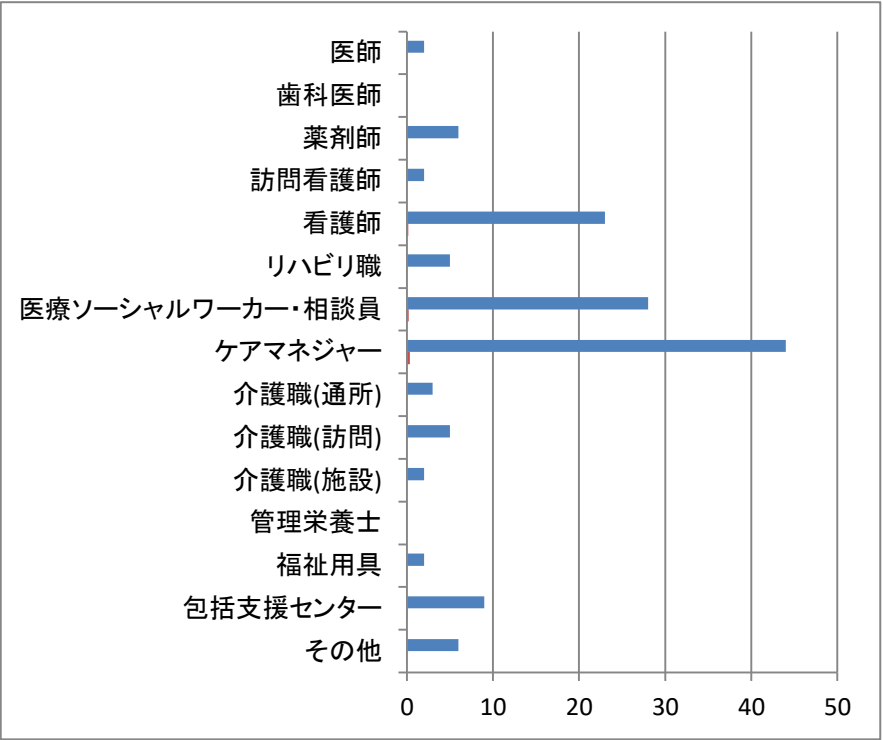


2025年度 多職種連携研修（第1回） アンケート結果

回答者数（人）
148

問1. 回答者の職種内訳

職種	人数	割合
医師	2	1.5%
歯科医師	0	0.0%
薬剤師	6	4.4%
訪問看護師	2	1.5%
看護師	23	16.8%
リハビリ職	5	3.6%
医療ソーシャルワーカー・相談員	28	20.4%
ケアマネジャー	44	32.1%
介護職(通所)	3	2.2%
介護職(訪問)	5	3.6%
介護職(施設)	2	1.5%
管理栄養士	0	0.0%
福祉用具	2	1.5%
包括支援センター	9	6.5%
その他	6	4.4%
未記入	11	

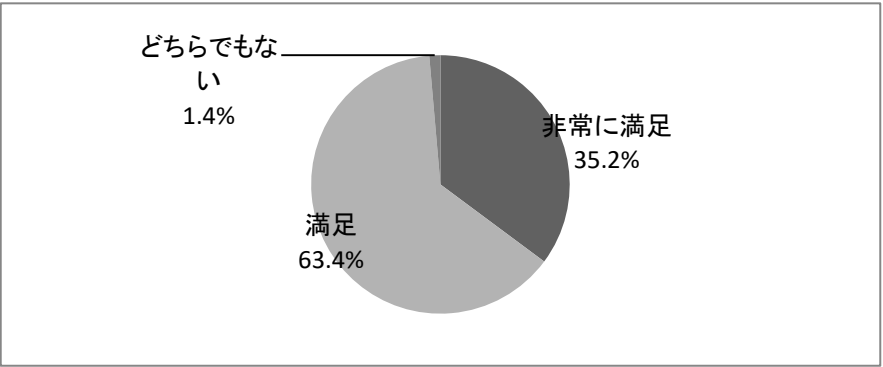


問2. 入退院支援において、病院との連携は大切だと思いますか。

項目	人数	割合
思う	148	100.0%
思わない	0	0.0%
未記入	0	

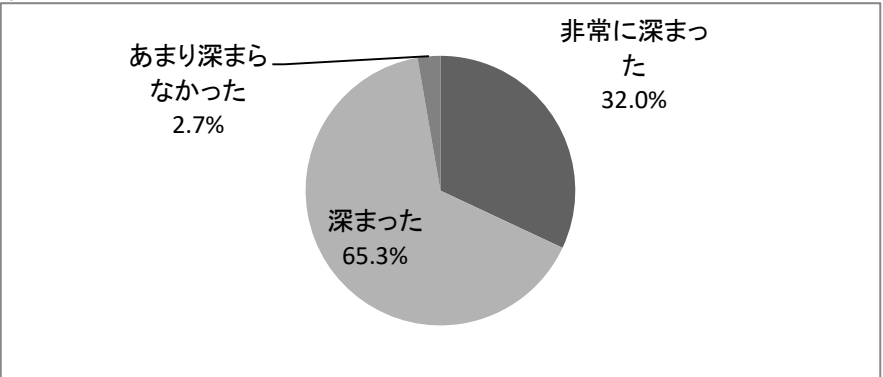
問3. 研修に満足されましたか。

項目	人数	割合
非常に満足	51	35.2%
満足	92	63.4%
どちらでもない	2	1.4%
不満	0	0.0%
非常に不満	0	0.0%
未記入	3	



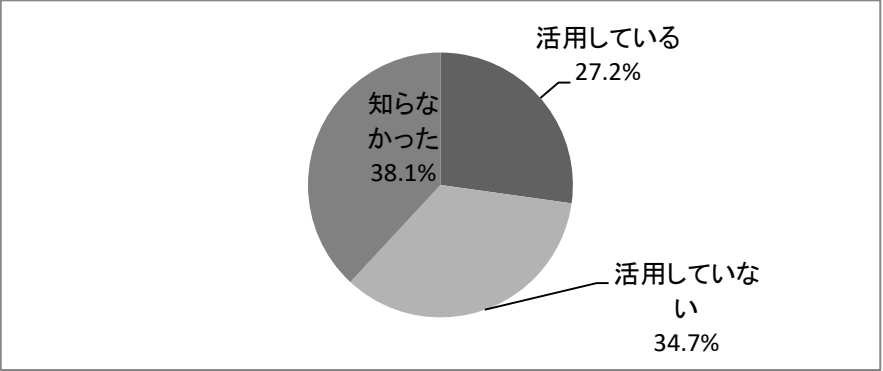
問4. 自分以外の職種についての理解は深まりましたか。

項目	人数	割合
非常に深まった	47	32.0%
深まった	96	65.3%
あまり深まらなかった	4	2.7%
深まらなかった	0	0.0%
未記入	1	



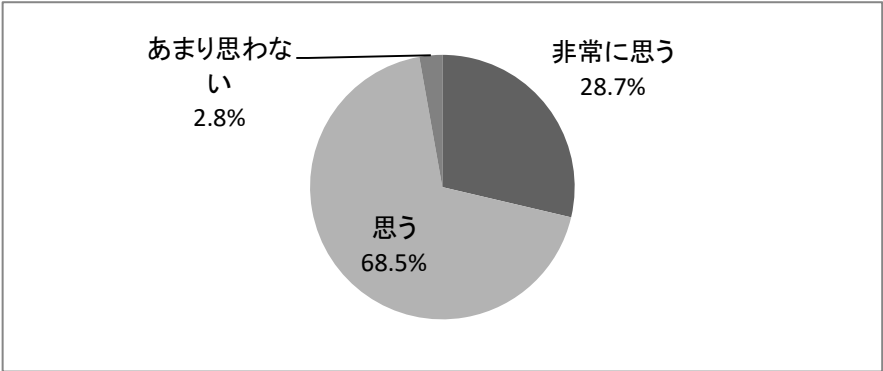
問5. 「入退院における連携・情報共有のためのガイドライン」について活用していますか。

項目	人数	割合
活用している	40	27.2%
活用していない	51	34.7%
知らなかった	56	38.1%
未記入	1	



問6. 入退院支援について、連携・相談しやすい関係づくりになったと感じましたか。

項目	人数	割合
非常に思う	41	28.7%
思う	98	68.5%
あまり思わない	4	2.8%
思わない	0	0.0%
未記入	5	



問7. 課題と感ずること、こうすればよかったと思うこと。（抜粋）

- ・家族が居ても居なくても連絡の対応は必要。アシスメントは重要。連絡、相談しやすい関係が必要だと分かりました。
- ・MSWの大変さがわかったが、電話連絡がつきやすくなると良い。
- ・早期に情報伝達するには、どうしたらよいか。
- ・密な連携を取れる様、細かなやり取りが必要だと感じた。
- ・入退院時の内服薬など薬情報不足が課題であると感じました。
- ・急性期病院のMSWさんのお話をきいて、お忙しいことがよくわかりました。連絡をお待ちするだけではなく、こちらからも積極的に連絡していくことも必要と感じました。
- ・入退院連携ガイドラインを実際に合わせてリニューアルすべき
- ・各職種の悩みを知らないことが問題と感じた。

問8. 意見、感想（抜粋）

- ・ソーシャルワーカーもみなさまも目的は同じ。全ての患者様の為。これを実現する為には、それぞれの立場でどのような役割があるかを知ることが大事だと思いましたので、今後もこの様な情報共有ができる場があれば良いと思いました。
- ・それぞれの職種のやっている業務が分かると、すり合わせられると思った。
- ・家族のいない人の対応、居ないならばどうするか？後見人制度利用？
- ・在宅で看取りについて
- ・終末期医療について聞きたい。
- ・契約する力のない人（認知面の低下）の入所・お金をおろす・サービスを使う方法について。（後見人がつくまで）後見人がつくまでかかわった人はボランティア。
- ・病院機能研修会（医療保険）
- ・支援1の方への支援どうしてますか？
- ・BCPの研修を行ってほしいです。
- ・グループワークの時間がもっととれるとよかった。各職種の思うところを批判的ではなく建設的に話すことができてよかった。
- ・顔と顔を合わせてこういった話し合いができる機会は非常に有意な時間でした